

令和 6 年度

焼津高等学校

自己評価 学校評価

令和 7 年 3 月 31 日

自己評価表 学校経営

教育目標	ア 校訓「心は寛く 気は高く」の実践 イ 総合学科の特性を活かし、生徒一人ひとりに対するキャリア教育の充実
建学の精神	ア 明朗、優雅、しかも質素で、勤労と責任を重んずる徳を養う。 イ 苦難克服の意気と、心身鍛錬の習慣をつくる。 ウ 時代の進歩に相応し、自主的で有為な先駆者となる抱負をもたせる。 エ 生活を科学化する基礎的实力を養う。 オ 師弟同行、家庭的親和の下、個性の伸長と協力的精神の啓発につとめる。
育てたい生徒像	ア 他者の意見を傾聴して多様性を受入れ、自分の責任を自覚し、協働して社会に貢献しようとする生徒 イ 自分の成長のために進んで学び、自らの感情を律して心身を鍛え、主体的に思考し行動しようとする生徒 ウ 社会の変化に対応する柔軟性を持ち、主体的に課題を発見し、論理的に分析して、計画的に処理・解決しようとする生徒 エ 働くことや学ぶことの意義、自分の立場や果たすべき役割を理解し、よりよく生きるための様々な情報を適切に活用して個性を伸長しようとする生徒

令和6年度 自己評価

ねらい	評価項目	具体的取組	評価	成果と課題
社会形成能力の育成	多様性の受容や協働と社会貢献の意識を高めさせる。	特別活動（生徒会活動・HR活動・学校行事） 地域貢献・交流 個人面談 傾聴姿勢・他者理解 ボランティア活動 部活動 規律・規範意識向上 挨拶・服装頭髪・礼儀	B	・本年度の生徒会役員はすべての活動に主体的に行動し、学校の活性化に大きく貢献した。来年度は3年次生1人、2年次生7人の構成で、伸びしろは十分である。 ・RADIO LUSH(YAIZU FM)へ生徒会を中心に参加し、地域に焼津高校を発信した。 ・ボランティアデーは教員主導で地域の清掃を行った。来年度は生徒会が企画する予定である。 ・部活動は例年並みの実績であった。一部で部員不足に苦しんだ。部活動の在り方を検討する時期であると考える。 ・一部の女子に乱れた制服の着用が見られた。身だしなみ指導を含め、生徒指導の注力点を確認し、指導体制を再検討して来年度につなげる。
自己管理能力の育成	基本的生活習慣を維持させ、心身の健康と学習力の向上を図る。	遅刻・欠席指導 日々の授業・試験の取組 防災学習 ICT利活用 読書習慣	B C	・後期からHR出席簿の電子化し、欠課超過面談を実施して欠課防止に役立てた。担任はこまめに欠席確認をして、出欠管理・生徒動向の正確な把握に努めた。 ・概ね授業開始時刻は守れているが、依然として職員室を遅く出る教員もいるので意識改革を徹底したい。 ・津波と火災の避難訓練を実施できたが、実施時期が遅かった。次年度は計画的に早い時期に実施する。 ・生徒用端末機器は大きな問題なく導入できた。利活用に課題が残る。 ・図書委員のカウンター業務は順調であったが、返却遅延が増えた。対策を探り改善したい。また、選書方法の見直しが必要である。

		学習力向上	B	・試験期間は朝読書を朝学習に変えるなど、試験に向かう意識啓発に努めた。また、試験後の振り返りと次回への対策を立てる機会を設けた。 ・教科での研究授業を開催したが、観点別学習評価の目的の浸透や、教科で打合せ等の課題を解消したい。 ・上位生徒には個別指導、中位層には全体指導、下位生徒には取り出し指導、という方針を学校全体で共有した。
		健康管理 検診 教育相談	B	・保健室延べ来室数 928 人 1 日平均 5.3 人、昨年比 0.2 人減となった。急用でない「何となく」来室が減ったと思われる。今後も真に必要な来室を指導する。 ・内科に関しては例年どおり、外科に関しては、体育大会の練習に伴う怪我が少なく、体育大会も室内実施の影響で体調不良者も少なかった。 ・教育相談の件数、SC の利用状況は例年どおりの傾向がみられた。効果的な面談があった反面、利用者が限られるので、広く周知したい。 ・SC がクラスに入って指導する際に行事との調整が難航した。SC によるクラスマネージメントの機会を設けたい。
課題対応力の育成	主体性や柔軟性の意識を高めさせ、解決に向かう行動を支援する。	基礎学力養成 系列・科目選択	B	・科目選択指導に関し、進路部と教務部の連携が不足した。体制を整える必要がある。 ・基礎力診断テストと実力診断テストは、教員の意思統一が不足しており、事後指導の工夫と改善が必要である。 ・3 年次生は SPI 対策として、読書の時間と総合Ⅱを利用して取り組んだ。また、外部指導者による対策講座を開催した。継続した指導を行う。 ・進路部として、将来を見据えた助言を積極的にする場を設ける検討したい。 ・1 年次生も年度当初に実施して、早期に進路活動に関する意識を啓発する機会を計画する。
		進路意識向上 自己実現のための実力養成	A	・業者を活用してタイムリーで有効な情報提供がされ、一定の効果が見られた。一方、実施後のサポート体制を早期に確立させる必要がある。
キャリアプランニング能力の育成	情報や機会の効果的な提供とその利活用を推進する。	情報提供・収集のための環境整備	A	・就職・進学課長が個別指導を行い的確な指導がされた。 ・業者の担当者による差が出た。業者の選定に課題が残った。来年度は選定検討の機会を設定したい。
		キャリア教育 産業社会と人間・総合ⅠⅡ 職業体験学習 上級学校見学 社会人・卒業生講話 検定・資格取得	B	・体験学習や講話など、キャリア教育のそれぞれの企画は生徒の反応は良く、目的を達成した手応えがあった。 ・学校全体の取り組みは十分とは言えず、まず総合学科推進室と各分掌間のコンセンサスを図り、同時に職員研修等で総合学科やキャリア教育の理解を深める機会を設ける必要がある。 ・産社・総合の授業展開は、総合学科推進室と業者の連携を推進し、体系的展開を進める。また、業者の情報とサービスを更に有効活用する。 ・検定・資格取得に関する生徒の意欲は十分とは言えず、今後も意識啓発を働きかけ、取得を推奨する。

学校の安心安全の推進	教育環境の整備を推進する。	環境美化	C	・ゴミ箱の代わりに教室に設置したゴミ袋が機能せず、学習ゴミ廃棄の際の不便さや、ゴミの放置が習慣化した。次年度は再設置を検討する。また、これを教材として生徒に環境への意識を啓発する。 ・掃除形態を変更したが、メリットデメリットを見据え、アンケート結果を参考に見直しを検討する。
		ICT 環境整備	B	・生徒用端末の通信制限の上限は十分で、次年度も維持する。職員用のPC、校務支援システムを導入し、環境整備を進める。これに伴い、セキュリティポリシー策定とその意識啓発を推進する。
		衛生管理	B	・換気指導を徹底し、手指消毒器具とCO₂モニターを各教室に設置し、熱中症対策として温湿度計も設置した。特段の事態はなかった。
		施設設備の維持管理	A	・施設の安全点検の頻度を上げ、維持管理の徹底に努めた。 ・本館建替えのための「施設費」を新たに設定した。また、校地内の借地の寄付を受け、賃料縮減により負債軽減となった。
教育力の向上・安定した学校経営	働き方改革の推進と教職員の資質向上の両立を図り、広報活動を充実する。	業務改善 学校改革 長時間労働縮減	B	・教育DX導入を進めることで、業務改善を図った。 ・部活動手当、職務給を導入することで教職員の待遇改善が進んだ。 ・働き方への意識が向上し、長時間労働は縮減した。学校改革は進んだが、まだ十分とはいえない。
		教職員研修 生徒募集	C	・校内外研修を推奨するなどして、教職員の資質向上を図ったが、研修参加率は予想を下回った。次年度は別のアプローチが必要である。 ・広報活動に不備不足は見られなかったが、合格基準の設定を誤り、募集定員を大きく下回る入学生であった。次年度は定員を上回る募集活動が必須である。

【社会形成能力の育成】

- ・生徒会活動が活発に行われていることは、生徒の主体性を育てる上で重要だと思う。継続してもらいたい。
- ・部活動は、活躍の場を地域社会に求め、地域と連携した活動を推進してもらいたい。
学校の様子を知る良い機会、知らせる機会になると思う。
- ・ルールを守り、自分たちが生活する場を清めることは、社会人にとって必須だと思う。規範意識、ボランティア精神など、社会に出て役立つような資質を高校生活の中で身に付け、育てるよう指導して欲しい。

【自己管理能力の育成】

- ・授業規律は教員によって保たれる。教員の意識改革が急務だと思う。
- ・業務の電子化は、現代社会では必須事項だと思う。データ管理を含め推進して欲しい。
- ・防災学習は、命を守る学習であり、防災訓練を実施する意味を伝え、形骸化することがないように指導して欲しい。また、新入生のことを考えると早期に実施するべきだと思う。
- ・活字離れが進む中、読書を推奨する取組と期限を守って返却することを指導して欲しい。

【課題対応力の育成】

- ・進路指導は外部の業者を活用し、1年次から計画的に進めていることが分かった。SPI等、進路決定に係る具体的な学習指導も1年次から進めてはどうか。
- ・科目選択や進路選択で悩む生徒に対し、個別面談を実施していることは良いことだと思う。年間を通じて常に相談できる体制を整えて欲しい。

【キャリアプランニング能力の育成】

- ・各系列で取得可能な検定や資格に対し、積極的にチャレンジすることを強く推奨して欲しい。
- ・総合学科の特長を活かし、校外活動を更に活発化して欲しい。また、外部から講師を招聘し、体験学習を充実させて欲しい。

【学校の安心安全の推進】

- ・現在、学校の安全安心は十分保たれているようだが、感染症対策や熱中症対策は継続してもらいたい。
- ・SNSに係る事件が頻発している。スマホ利用について学校での指導や研修を強化して欲しい。
- ・ゴミ問題は、学校や家庭だけでなく地球の環境問題として捉え、生徒一人ひとりの意識が向上するよう指導して欲しい。
- ・感染症対策の一環として、各教室に空気清浄機を置くことを検討して欲しい。

【教育力の向上・安定した学校経営】

- ・近隣の中学校に留まらず、広く総合学科の魅力や焼津高校の取組を広報するべきだと思う。
- ・校外研修に参加して教員が資質向上に努めることが生徒の資質向上につながると思う。今後も是非続けて欲しい。

学校関係者評価委員会の御意見を令和7年度の学校運営に活かしていきます。